

能代港ビジョン ～県北地域の一体的な飛躍に向けて～

中間とりまとめの概要〔平成30年3月〕

能代港を取り巻く情勢

- ・石炭火力発電所の増設や関連工事の進捗 ・風力発電の資機材やリサイクル貨物などの取扱量増加 ・港湾区域及び周辺一般海域での洋上風力発電建設計画の進展
- ・数年内に見込まれる日本海沿岸東北自動車道の全線開通 ・人口減少に伴う地域経済の停滞 ・ドライバー不足など物流環境の悪化
- ・クルーズ需要拡大への対応 ・交流人口の拡大、外国人旅行者増加への対応 ・再生可能エネルギー、水素などの新エネルギーへの対応

3 つが集まる、能代港の将来の姿 ～モノ、ヒト、チカラの3つが集積、交流し、県北地域一帯が飛躍するために～

モノが集まる

(1) ネットワークの充実による物流効率化

- ① 安定した海上輸送ネットワークを支える港湾機能の充実
 - ・安全な荷役、安定した物流を確保するための港内静穏度向上、航路泊地の水深確保、土砂処分場の確保
- ② 使いやすい港づくり
 - ・埠頭用地拡大、倉庫整備など保管機能の強化、多様なニーズに対応した付帯施設整備、冬でも使いやすい港づくり
- ③ 道路ネットワークの充実とアクセスの強化による地域産業の活性化
 - ・無料高速の開通効果を最大化、産業・観光など県北地域の連携強化、県境を越えた背後圏の拡大、自動運転など新技術の積極的な導入

(2) リサイクル物流の進化

- ① リサイクルポートへの集荷と連携輸送の推進
 - ・国外広域圏との輸送に対応した船舶の大型化、ストックヤードの拡大、国内他港との広域連携輸送
- ② リサイクル産業の集積
 - ・秋田県北部エコタウン計画との連携、ソーラーパネルのリサイクルなど新たなニーズへの対応



ヒトが集まる

(1) 交通インフラの充実に対応した観光拠点づくり

- ① 世界自然遺産「白神山地」等観光のゲートポート
 - ・大型クルーズ船対応岸壁の整備、能代港を起点とし白神観光と連携した県北全体の観光メニューづくり、クルーズ船誘致・歓迎活動
- ② 県北の自然、文化、歴史を発信
 - ・県北地域ならではの景観、食材、体験のメニューづくりと情報発信
- ③ 産業観光の振興
 - ・エコ、エネ、宇宙といったこの地域独自の資産の観光への活用

(2) 海辺の賑わい創出

- ① 「風の松原」等の景観を活用
 - ・市民参加による観光地や憩いの場の保全、活用
- ② 臨海部埋立地の利活用
 - ・埋立が完了する第一灰捨場の活用



チカラが集まる

(1) 石炭火力発電を支える

- ① 広域の電力供給と地域経済の基盤
 - ・競争力を維持する物流効率化、石炭灰リサイクルの推進
 - ② 安定した海上輸送ネットワークを支える港湾機能の充実
 - ・安定した石炭輸入を支える港湾機能の確保
- #### (2) 日本海沿岸北部における風力発電の拠点形成
- ① 洋上風力発電施設の建設促進のための基盤整備
 - ・洋上風力の建設を支える拠点港、洋上風力関連の重量貨物輸送拠点としての機能強化、関連産業の誘致

- ② 風力発電の部材輸送やメンテナンス基地としての活用
 - ・資機材輸送・保管・供給の拠点、メンテナンス拠点としての機能強化

(3) 地域資産としての活用

- ② 地域資産としての活用
 - ・風力発電の視察など産業観光などに活用
- (3) 新産業・新技術への柔軟かつ積極的な対応
 - ・新エネルギー、環境など新技術を積極的に活用



ビジョンの実現に向けた今後の取り組み

1. 計画的なインフラ施設の整備

- ① 港湾計画の見直し
 - ・港内静穏度の向上、貨物・クルーズ兼用岸壁整備、港内の残土・浚渫土を活用した埠頭用地拡張、港湾利用・土地利用の高度化を目指した港湾計画の見直しを検討
- ② 施設の整備、維持管理の推進
 - ・施設の整備と適切な維持管理の推進、港湾の高度利用、使いやすさの向上を図る
- ③ 風力発電資機材輸送・建設拠点港としての機能強化
 - ・風力発電の資機材輸送、洋上風力発電の建設・メンテナンス拠点港となるべく、地耐力強化や保管ヤードの拡張を推進
- ④ 観光需要の取り込みに向けたインフラ等の更なる充実
 - ・日沿道の開通効果を高めるため、各ICと観光・交流拠点を結ぶ道路網の充実など、受入体制の改善・強化を推進
- ⑤ 企業立地環境の整備
 - ・企業の立地促進、連携強化に向けた環境整備

2. 地域の活性化に向けた体制の強化

- ① 新たな振興推進組織の設置
 - ・県北地域の各自治体、経済団体、企業等が連携して、地域振興について議論を進める協議会を設立
 - ・能代港が洋上風力発電の拠点港となれるよう、港湾機能の強化、利用促進に向けて取り組む「能代港洋上風力発電拠点化推進期成同盟会(仮称)」を設立
- ② 既存の組織の強化・活性化
 - ・能代港湾振興会や能代港ポートセールス検討会において、本ビジョンで示された課題に対応し、網羅的かつ広域的に活動範囲を広げ、活発な活動を展開
- ③ 地域を支える人づくり
 - ・観光地や市民の憩いの場における保全活動やイベント企画への地域住民参加、企画の支援、人づくりを推進

3. 港湾の利活用、地域振興に向けて取り組む企画、発信

- ・陸路、海路、空路、鉄道など様々な目的や手段で来訪する観光客に対応出来るよう、自然、歴史、グルメなどテーマ毎の観光ルート開発、案内地図作り
- ・スマートフォン対応のアプリ開発や情報発信、地域産品の商品開発など多面的に取り組んでいく。
- ・これまで開催されてきている祭りや花火大会などに加え、スポーツイベントや音楽イベント、食のイベントなど交流人口拡大に向けた取り組みを積極的に推進

地域を支える基本的な機能

1. 地域防災拠点としての機能強化
2. 港湾BCPを活用した災害対応力強化
3. 代替輸送など他港との連携強化